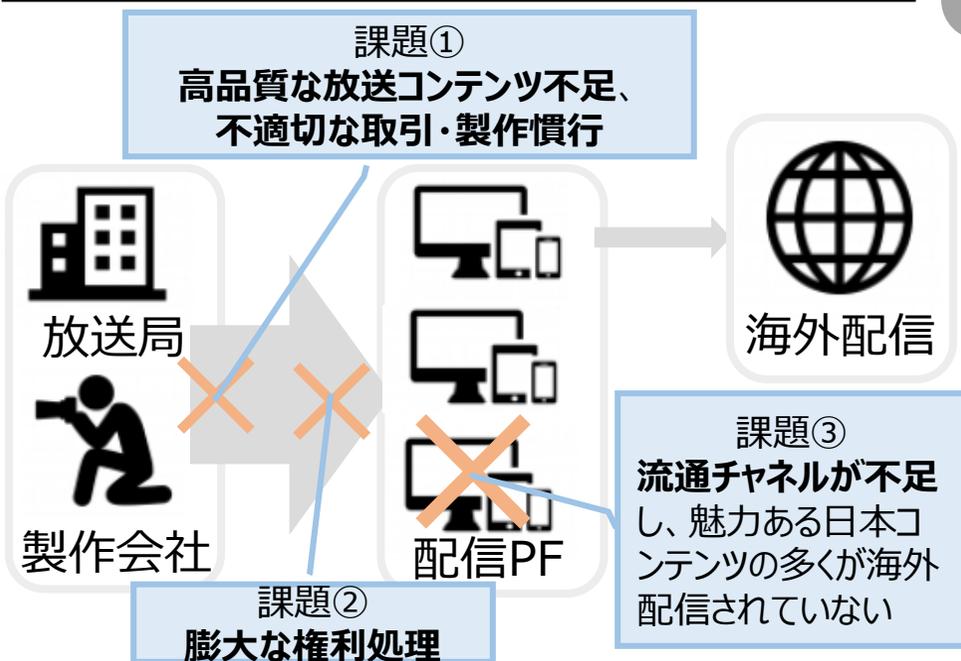


放送コンテンツ振興に係る取組について

総務省情報流通行政局
2025年2月

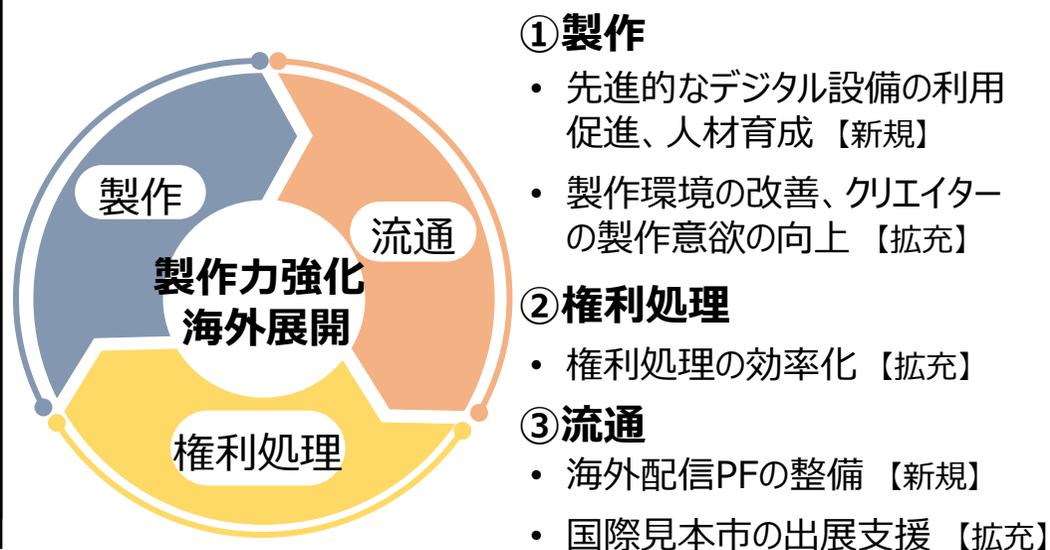
- 日本発コンテンツの海外市場規模20兆円（2033年）※達成のため、**日本の放送コンテンツのさらなる製作力強化・海外展開の推進が必要。**
※「新たなクールジャパン戦略」（令和6年6月、知的財産戦略本部決定）
- 製作力強化・海外展開にあたって、**①グローバルで求められる高品質コンテンツの不足、先進的技術・ノウハウ等を有した人材の不足、不適切な取引・製作慣行、②膨大な権利処理、③海外流通チャンネル不足等の課題**が存在。
- ①人材育成支援を含めた高品質の放送コンテンツの製作促進、②権利処理の効率化、③日本の放送コンテンツを集約した配信プラットフォーム（PF）の整備等に取り組むことにより、**「製作・権利処理・流通」の好循環の実現を図り、放送コンテンツの製作力強化・海外展開を推進。**

現状・課題

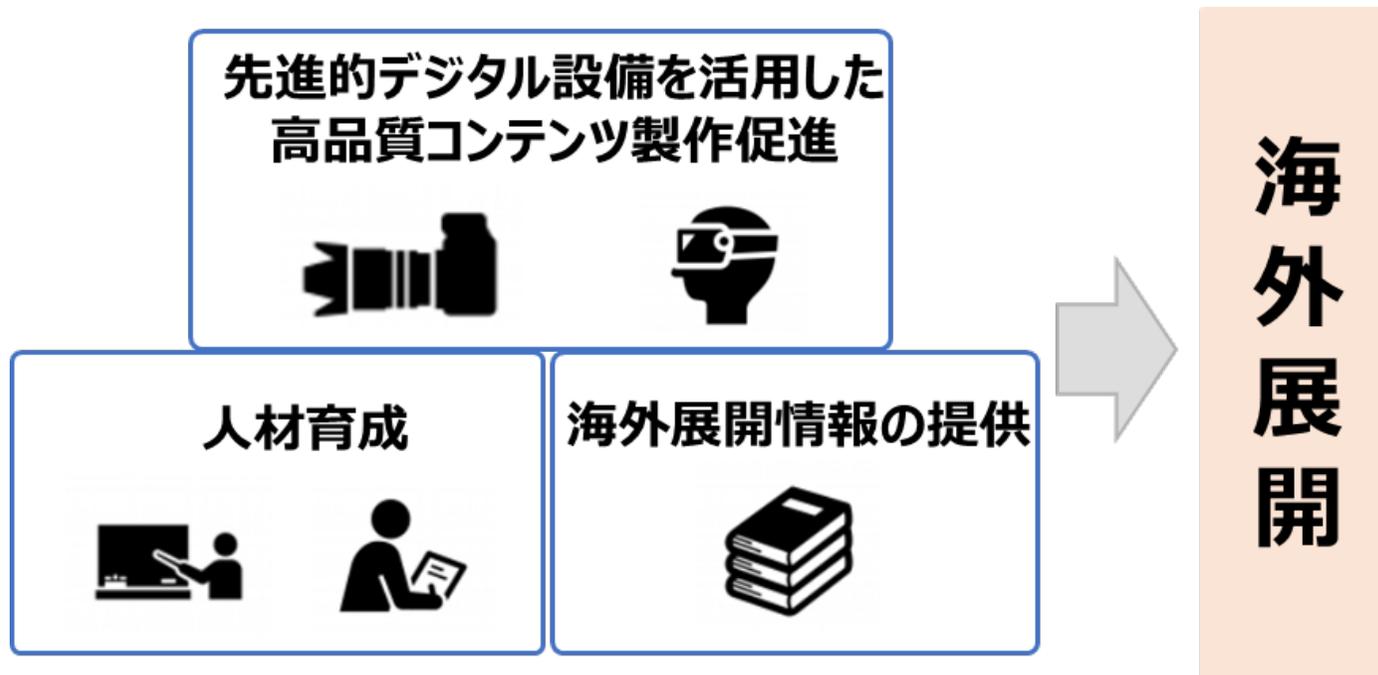


目指す姿

「製作・権利処理・流通」の好循環による
放送コンテンツの製作力強化・海外展開を実現



- 海外展開を前提とした高品質な放送コンテンツの製作を促進するため、日本のクリエイター（放送事業者、番組製作会社）に対して、デジタル設備の活用にあつる経費の支援、製作にあつる人材の育成、海外展開情報の提供を図り、放送コンテンツの海外展開を推進。



● 予算：12.2億円（海外展開にあつる高品質コンテンツ製作促進事業（令和6年度補正+令和7年度当初（案））

● スケジュール：

（先進的デジタル設備を活用した高品質コンテンツ製作支援）

4月頃 補助金執行団体の決定、以降準備整い次第、補助事業者の公募
（人材育成）

6月頃 請負事業者の決定、以降準備整い次第、研修・セミナー等の実施
（海外展開情報の提供）

6月頃 請負事業者の決定、事業実施

1. ガイドライン策定等の背景

- 下請代金支払遅延等防止法の対象である「情報成果物作成委託」に係る取引の適正化に対応するため、平成21年2月に策定。
- 著作権の帰属に関する整理表の一部見直しや、適正な製作費（取引価格）の決定に係る望ましいと考えられる取引事例の追加、適正な就業環境の整備に関する新章の追加などの改訂を行った第8版を令和6年10月に公表。

2. ガイドラインの対象

- 放送事業者は、地上基幹放送、衛星基幹放送、衛星一般放送、有線テレビジョン放送等のうちテレビジョン放送を行う者
- 番組製作会社は、上記テレビジョン放送のための放送コンテンツの製作に関わる者（フリーランスを含む。）
(すなわち、地上テレビジョン放送、BS放送、東経110度CS放送、東経124/128度CS放送、ケーブルテレビ等に係る放送コンテンツの製作取引が対象。)

3. 主な内容

- 第1章 書面の交付
- 第2章 取引価格の決定
- 第3章 著作権の帰属
 - (1) 著作権の帰属、窓口業務
 - (2) 放送番組に用いる楽曲に関する取引
 - (3) アニメの製作に関する取引
- 第4章 取引内容の変更・やり直し
- 第5章 就業環境の整備
- 第6章 その他
 - (1) 下請代金の減額
 - (2) 支払期日の起算日
 - (3) 契約形態と取引実態の相違
 - (4) トンネル会社の規制
 - (5) 下請事業者の振興のための取組

● 問題となり得る事例（抜粋）

- 発注書の書面交付が行われていない場合があった
- 取引価格等の決定について、事前に十分な協議の機会が設けられていなかった
- 著作権の帰属について、事前に十分な協議の機会が設けられていなかった

○ 望ましいと考えられる事例（抜粋）

- 放送番組製作委託契約の際、書面が交付されていない場合は、アラートが表示されるシステムを導入している
- 製作会社が著作権を放送局に譲渡する場合には、放送局は製作会社に対し、「著作権の対価」に係る部分を、製作委託費とは別に明示して支払っている
- 制作業務を局と製作会社が共同して行う場合には、著作権を共有する形で契約している
- 取引先との会議は夜間に行わないよう配慮し、会議時間も2時間以内と決まっている

- 総務省では、良質で魅力ある放送コンテンツの製作・流通を促進する観点から、放送事業者等と番組製作会社等との間の適正な製作取引を推進しており、「放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン」を平成21年2月に策定し、その後、必要に応じて累次改訂を実施してきた。
- 今般、「ガイドライン遵守状況調査」及び「放送コンテンツ製作取引実態調査」(アンケート)の結果や、中小企業庁が実施する「価格交渉促進月間」フォローアップ調査の結果等を踏まえ、令和5年12月から、「放送コンテンツの適正な製作取引の推進に関する検証・検討会議」において、ガイドライン改訂に向けた議論を実施。
- 同検証・検討会議では、著作権の帰属及び適正な製作費の在り方を中心に、発注側と受注側の業界団体からヒアリングを実施するとともに、番組製作現場の就業環境の実態について共有した上で議論を行い、ガイドライン(第8版)をとりまとめ、公表した。

論点① 著作権の帰属

- 著作権の帰属について整理した一覧表において、
 - 製作会社が放送局に著作権を譲渡する場合には、**放送局は十分協議を行った上で、適正な著作権譲渡の対価を決定する必要**があることを明記。
 - 製作会社と放送局(民放)が**著作権を共有するケースについて、類型を追加**するとともに、二次利用収益の分配は著作権の帰属、製作過程の役割分担等を踏まえて協議によって決定される旨明記。
- 十分な協議や対価の支払いをせずに、発注者に著作権を帰属させることがないよう、**著作権の帰属や著作権譲渡の対価についての望ましいと考えられる事例を追加**。

論点② 適正な製作費

- 取引価格の決定に当たっては、取引の一方当事者が協議を尽くしたと認識するだけでは不十分であること、価格転嫁のために定期的な協議を行うことを推奨する旨を明記。
- 契約書や発注書に記載することが望ましい事項について標準的なひな形を掲げている例や、価格交渉を促進するようなツールを作成した例など、他業種で実施されている手法を望ましい事例として紹介。

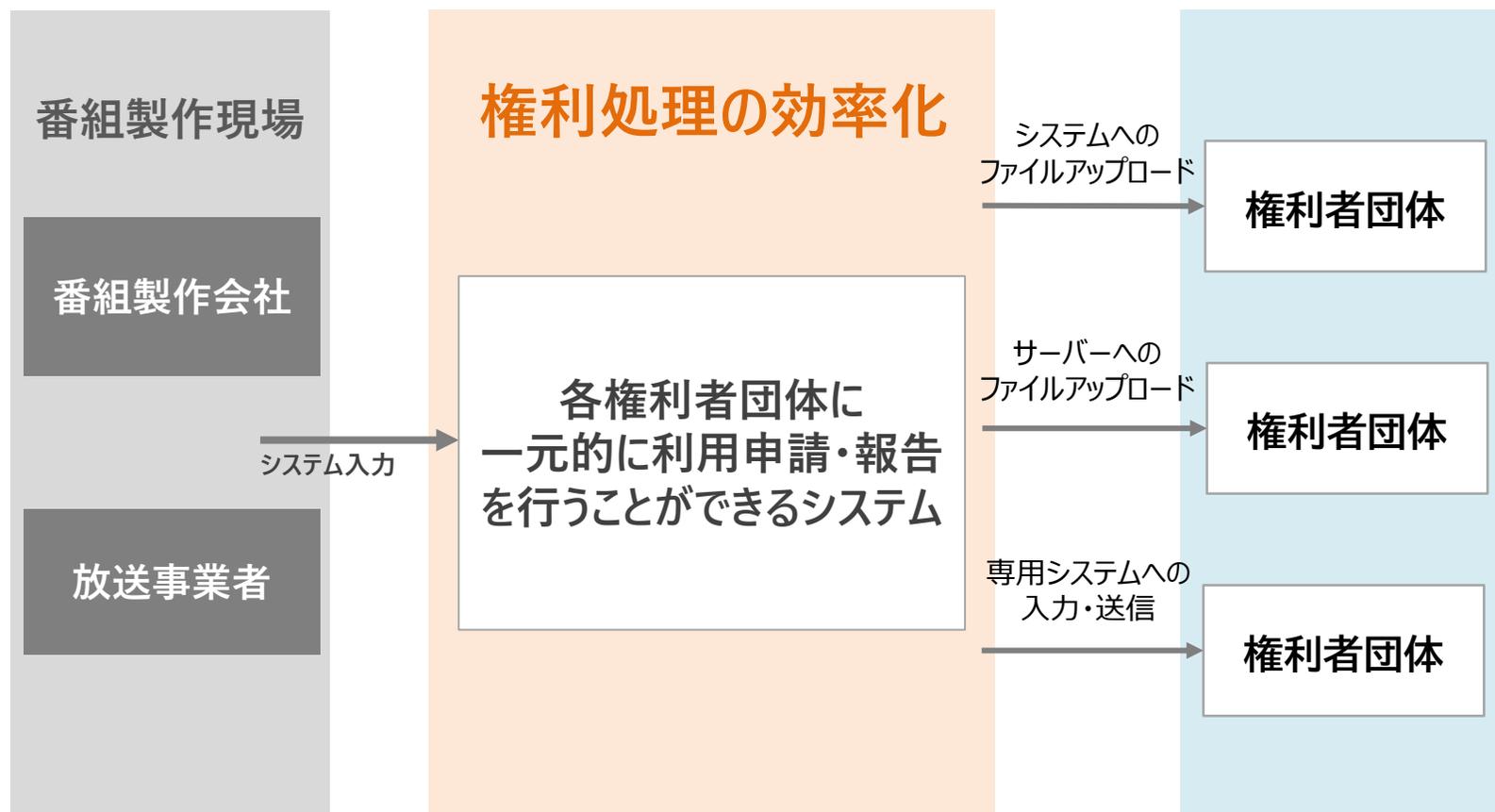
論点③ 就業環境の適正化

- 適正な就業環境の整備について、新章を追加。
- 発注者は、下請である受注者の問題とせず、サプライチェーン全体中での人権侵害や製作環境にも目を配っていくべきであることを明記。
- 発注者による長時間労働の防止のための配慮、ハラスメント相談窓口の周知、研修会・講習会の実施については、実態を把握し、好事例の横展開を図るなどの工夫が必要であり、望ましいと考えられる事例を記載。

その他

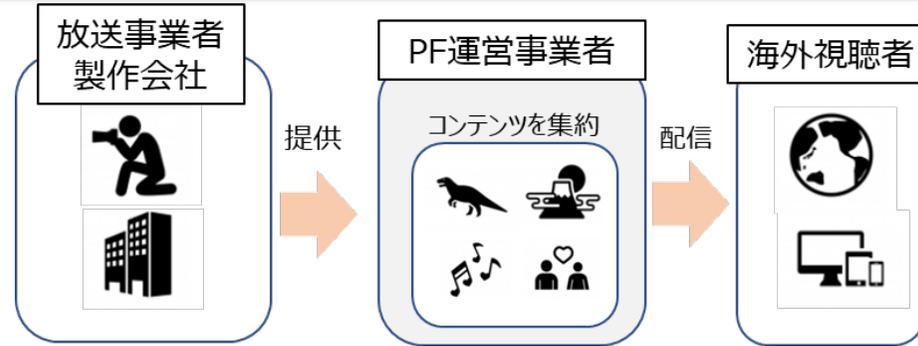
- 「フリーランス・事業者間取引適正化等法」及び同法の関連政省令・ガイドラインを参照する記述を追加。
- 「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に関する記述を追加するとともに、「下請代金支払遅延等防止法に関する運用基準」等の改正を反映。

- 事務作業量が過大となっている権利処理を効率化し、番組の海外展開やネット配信を促進するため、各権利者団体に一元的に利用申請・報告を行うことができるシステムの構築に関する検証を実施する。



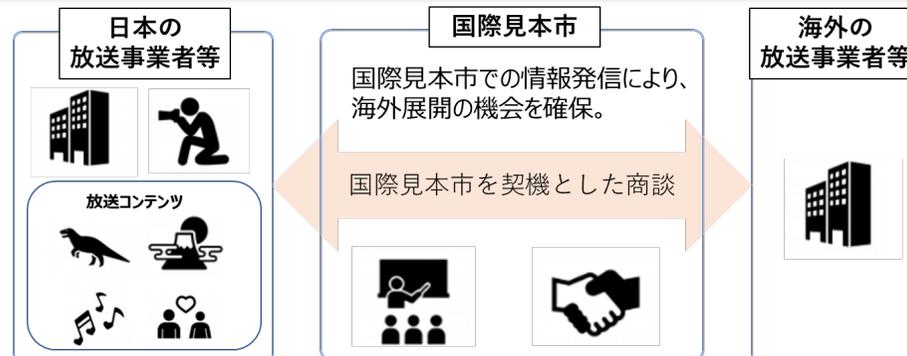
- 予算：1.3億円（放送コンテンツ等のネット配信の促進に関する調査研究（令和6年度補正＋令和7年度当初（案）））
- スケジュール：4月頃 請負事業者の決定、事業実施

- 放送事業者等と連携し、日本の放送コンテンツを集約した配信プラットフォーム（PF）により、海外配信を実現し、海外視聴者のサービス受容性、正規流通の促進による不正流通対策としての有効性等を検証。



- 予算：9.8億
（放送コンテンツの海外展開推進に向けた配信プラットフォームに関する実証事業（令和6年度補正+令和7年度当初（案）））
- スケジュール：6月頃 請負事業者の決定、事業実施

- 国内外の国際見本市において、放送コンテンツの海外展開に係る取引機会確保に向けた、効果的な訴求方策を検証。



- 予算：1.5億円（国際見本市を通じた放送コンテンツの海外展開（令和7年度当初（案）））
- スケジュール：6月頃 請負事業者の決定、事業実施

- 国際見本市は、情報発信や取引機会の確保のため世界各地で開催されており、放送コンテンツの主要な取引の場。

日本の事業者が参画する主な国際見本市

 **TIFFCOM**
(10月, 東京)

- ・ 日本における国際見本市を主催





 **MIPCOM**
(10月, フランス・カンヌ)

- ・ セミナーを開催して日本の放送コンテンツを紹介



 **Asia TV Forum & Market (ATF)**
(12月, シンガポール)

- ・ 日本ブースを設置してオールジャパンでアピール



国際見本市におけるコンテンツ取引

国際見本市は、国内外の放送局、制作会社等においてコンテンツ取引に係る多くの決定権者（ディビジョンメーカー）が参加していることから、**見本市を契機として海外展開につながる事が多数**。

TIFFCOM2023におけるコンテンツ取引

国際見本市には世界の各国・地域から多数の事業者が参画し、多数のコンテンツが取引

取引件数
6,308件

取引金額
約**143**億円

日本からの
出展者数
116社

海外からの
ビジター数
603名
(50か国・地域)